

報告事項ス

平成29年度特別支援教育体制整備状況調査結果について

平成29年度特別支援教育体制整備状況調査結果について、別紙のとおり報告します。

平成30年4月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

## 平成29年度特別支援教育体制整備状況調査結果について

### 特別支援教育課

#### 1 調査の目的

インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進・充実に向け、各学校の特別支援教育の状況等を把握し、今後の施策の参考とする。

#### 2 実施時期 平成29年11月

#### 3 調査対象 鳥取県内公立小中学校（分校を含む）及び県立高等学校 （小学校125校、中学校59校、高等学校24校）

#### 4 回収率 100%

#### 5 調査結果の分析等

##### （1）結果について

- どの校種においても、校内委員会を年間計画に位置づけ、年3回以上開催する学校が大半である。特に、小学校においては、昨年度より結果が向上している。
- 特別支援教育主任（担当）が職務に専念できるような配慮として、どの校種においても研修会参加の割合が高かった。また、小中学校では校内での役割の明確化、高等学校では授業持ち時間数の軽減を行っている学校が多く見られた。
- 個別の指導計画及び個別の教育支援計画においては、作成者数、全児童生徒に対する作成率が、いずれの校種においても増加している。
- 進学や就職先への引継ぎができなかった理由として、保護者又は学校が引継ぎは必要ないと判断している件数が多かった。
- 特別支援教育に関する校内研修について、小学校では特別支援学級の授業研究、中学校及び高等学校では発達障がいの特理解の割合が高かった。
- 特別支援学校教諭免許状を保有している教員の人数は小学校で約20%、中学校で約10%割、高等学校では約2%程度にとどまっている。

##### （2）課題

- 小中学校の特別支援学級における個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成率が100%となるように働きかけるとともに、児童生徒の実態に応じた効果的な作成・活用への理解啓発が引き続き必要である。
- 校種間の引継ぎにおいて、本人・保護者との共通理解や合意形成を継続して行う必要がある。
- 各学校において、全教職員の専門性向上のために校内研修会の活性化や内容の精選、特別支援学校教諭免許状の保有率向上が必要である。

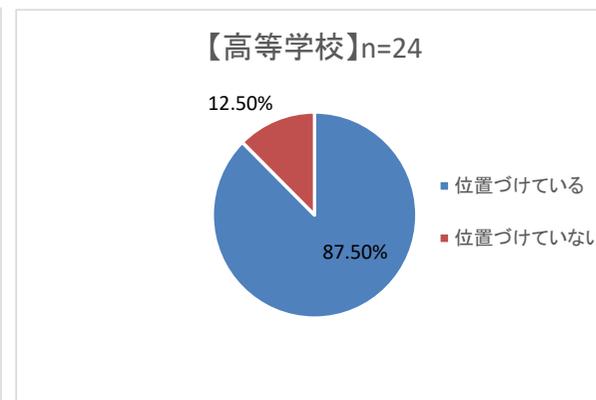
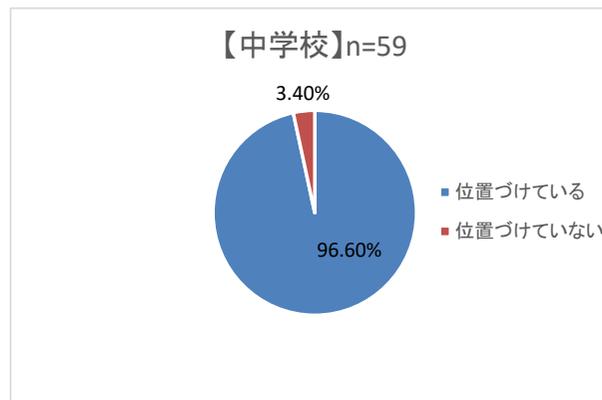
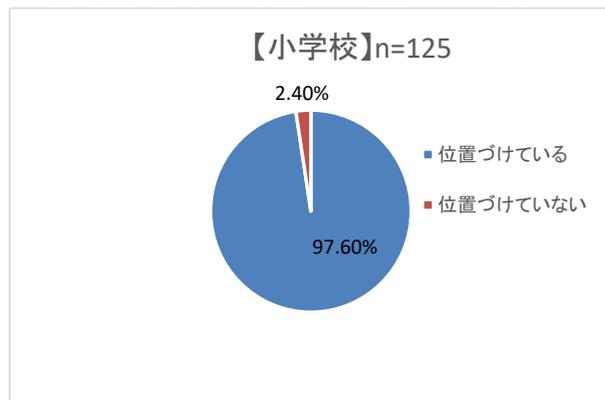
##### （3）今後の対策

- 各圏域ごとに行われている特別支援教育担当者会等において、相談活動に携わる特別支援学校のコーディネーターとLD等専門員とが情報共有や事例検討を重ね自らの専門性の向上を図ることにより、個別の指導計画及び個別の教育支援計画の効果的な活用促進を含めた相談活動の充実に努める。さらに、管理職研修会や校長会等において、特別な支援が必要な児童生徒の個別の教育支援計画及び個別の教育支援計画の作成について理解啓発を進める。
- 特別支援学校のセンター的機能・LD等専門員の活用を促進し、小中学校等の特別支援教育主任・進路指導担当等と連携を図りながら、特別な支援を必要とする本人・保護者への丁寧な進路指導の重要性について情報発信を行う。
- 教職員の専門性向上のために、鳥取県教育職員免許法認定講習の積極的な情報提供や関係課・部局と連携し、研修体系や研修内容の充実に努める。

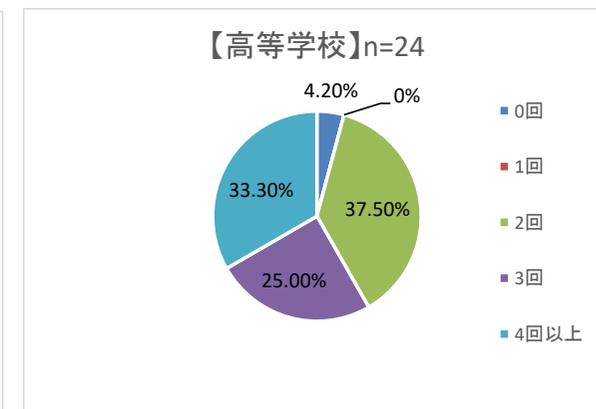
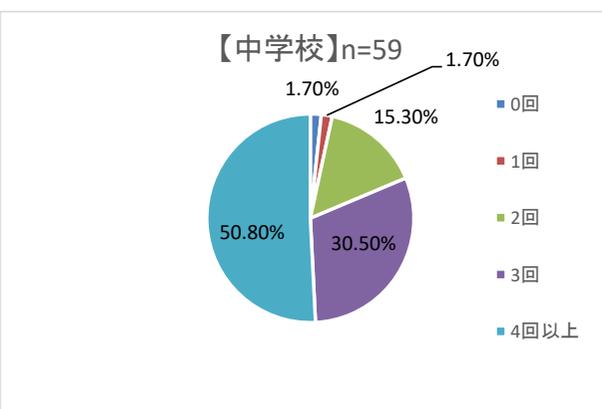
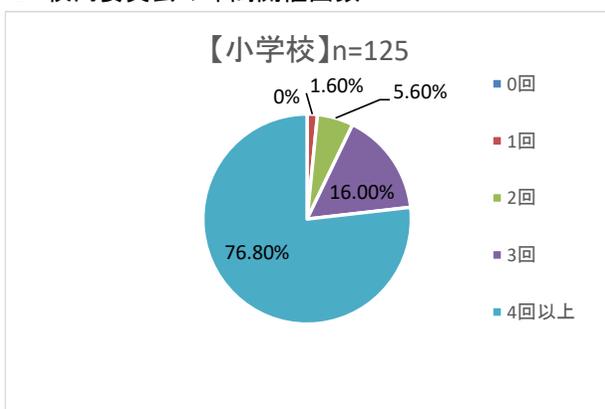
【鳥取県版】平成29年度体制整備状況調査(校内実施状況)の結果について

1 実施時期	平成29年11月		
2 調査対象	鳥取県内の公立小中学校及び県立高等学校		
3 回収率	100%		
4 在籍者数(人)	小学校125校	通常の学級	27957人
		特別支援学級	1007人
	中学校59校	通常の学級	14424人
		特別支援学級	441人
高等学校24校		11754人	

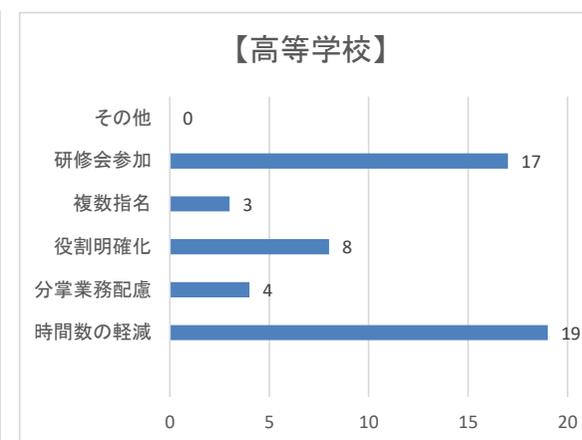
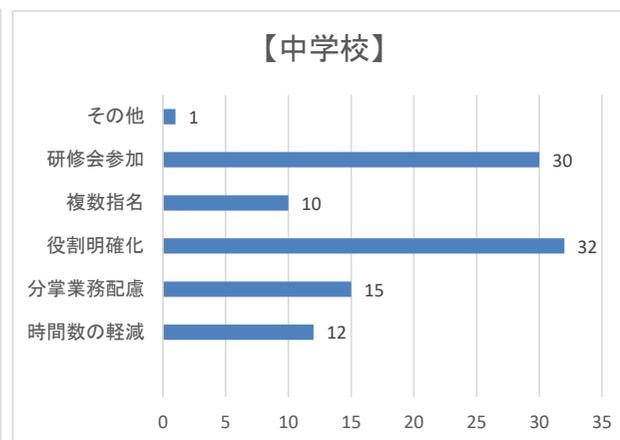
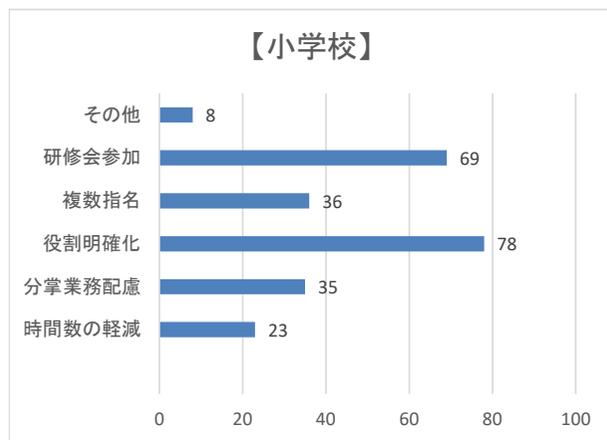
1 校内委員会の年間計画への位置づけの有無



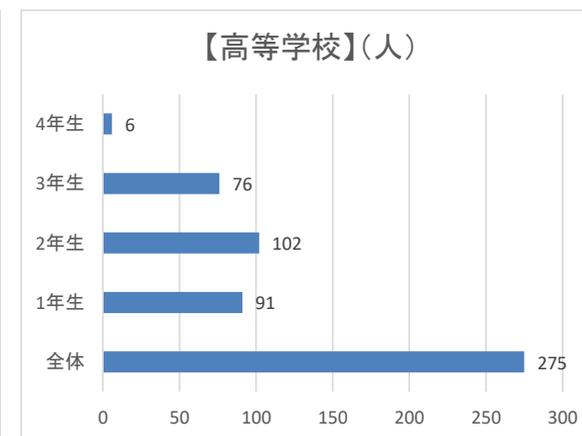
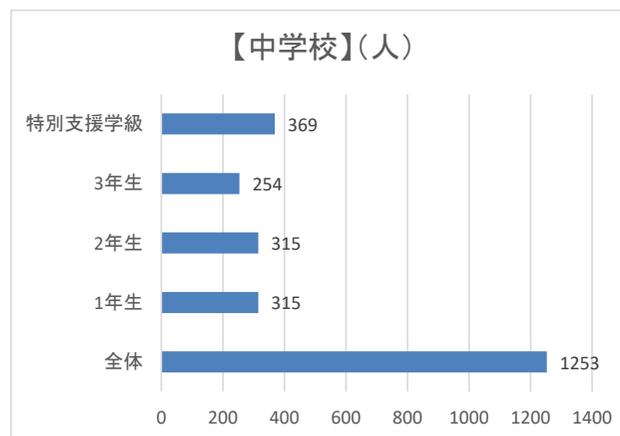
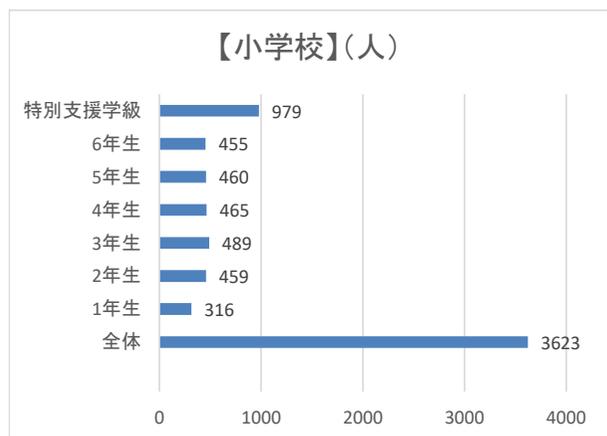
2 校内委員会の年間開催回数



### 3 特別支援教育主任(担当)の職務に専念できるための配慮



### 4 個別の指導計画の作成状況



#### <小学校における児童数に対する割合>

全体	12.50%
1年生	6.90%
2年生	9.70%
3年生	10.80%
4年生	9.80%
5年生	9.60%
6年生	9.60%
特別支援学級	97.20%

#### <中学校における生徒数に対する割合>

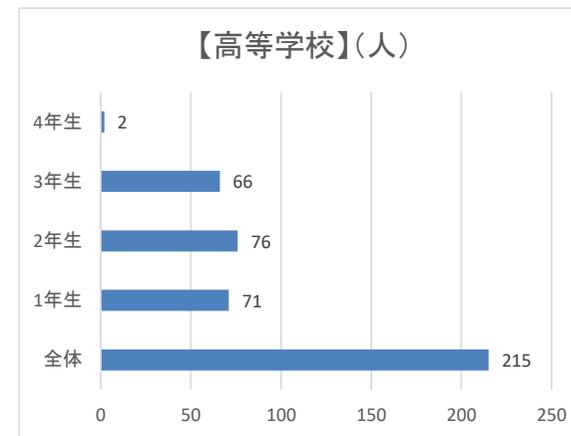
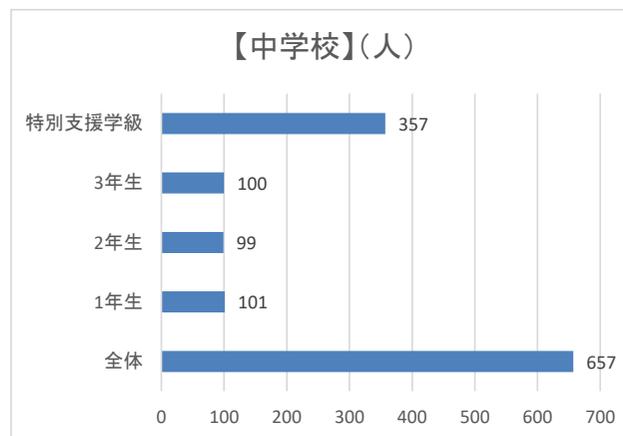
全体	8.40%
1年生	6.60%
2年生	6.40%
3年生	5.20%
特別支援学級	83.60%

#### <高等学校における生徒数に対する割合>

全体	2.30%
1年生	2.30%
2年生	2.60%
3年生	1.90%
4年生	16.60%

どの校種においても、作成者数が増加しており、全児童生徒数に対する作成率も向上している。

## 5 個別の教育支援計画の作成状況



### <小学校における児童数に対する割合>

全体	4.60%
1年生	1.00%
2年生	1.20%
3年生	1.60%
4年生	1.10%
5年生	1.00%
6年生	1.30%
特別支援学級	99.40%

### <中学校における生徒数に対する割合>

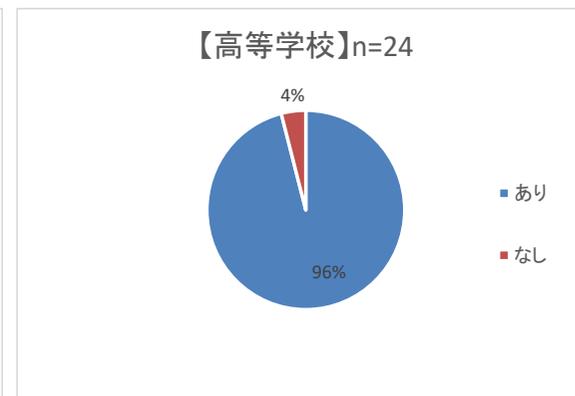
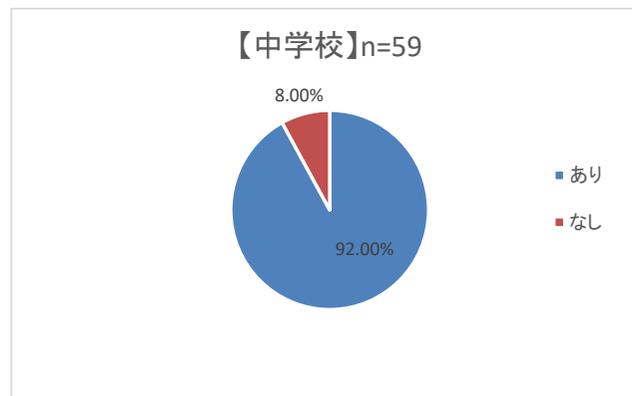
全体	4.40%
1年生	2.10%
2年生	2.00%
3年生	2.00%
特別支援学級	80.90%

### <高等学校における生徒数に対する割合>

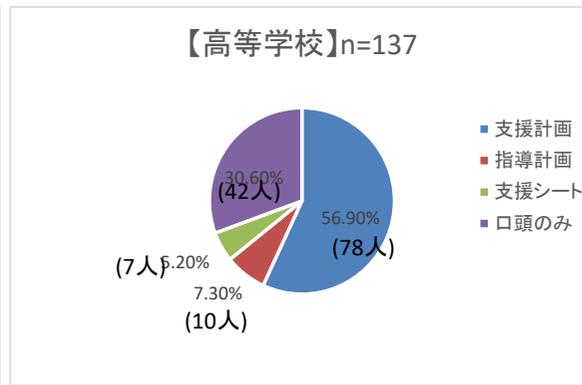
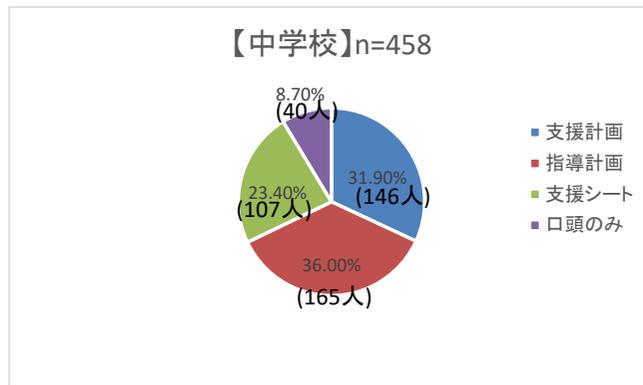
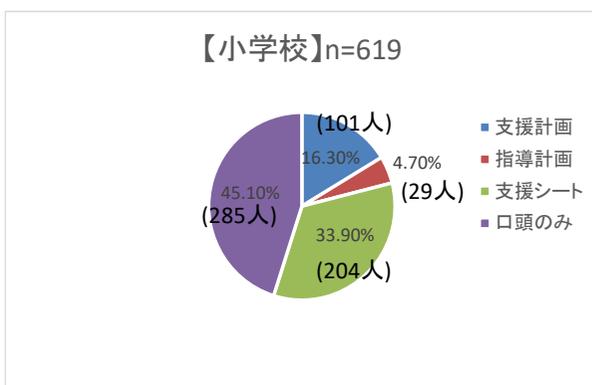
全体	1.80%
1年生	1.80%
2年生	1.90%
3年生	1.60%
4年生	5.50%

どの校種においても、作成者数が増加しており、全児童生徒数に対する作成率も向上している。

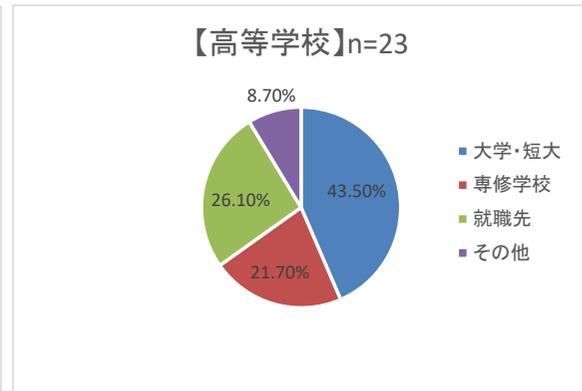
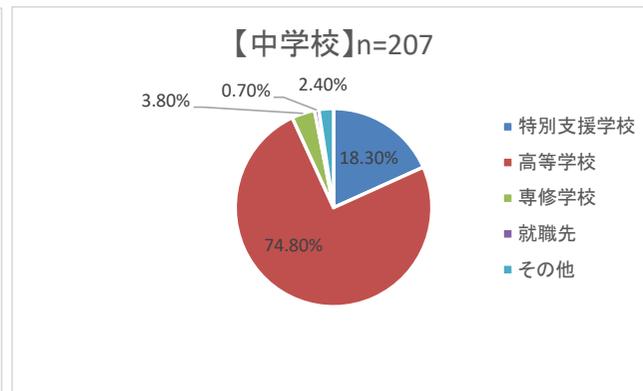
## 6 前籍校・園からの引継ぎの有無に関する学校数



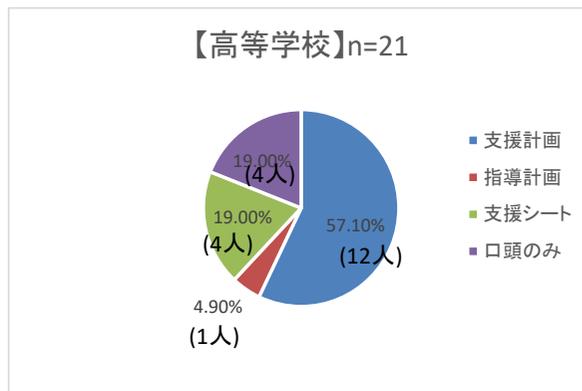
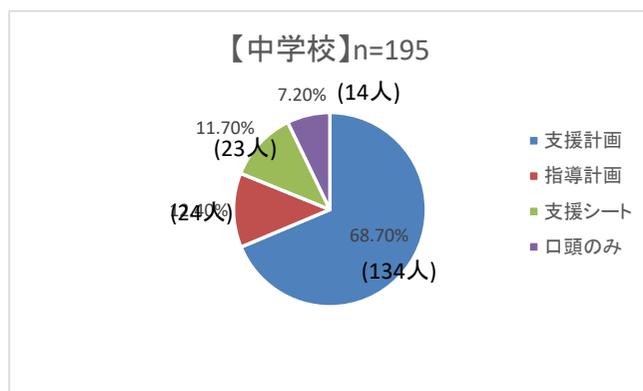
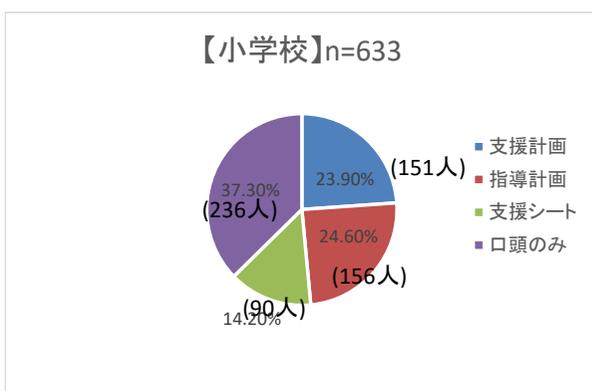
## 7 前籍校・園からの引継ぎ方法



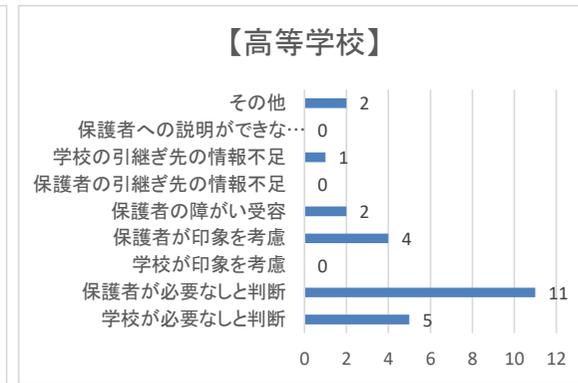
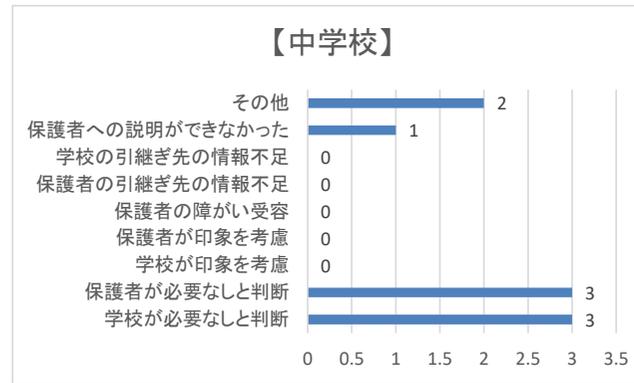
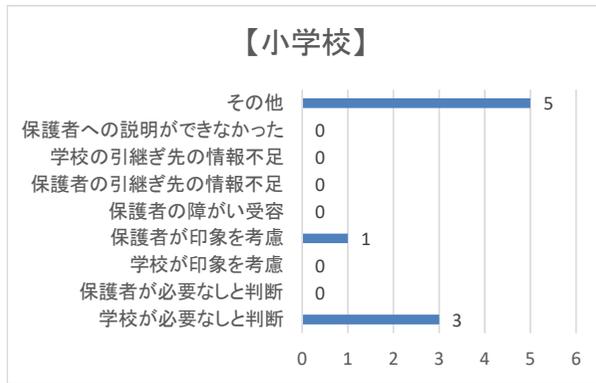
## 8 進学・就職先への引継ぎ状況



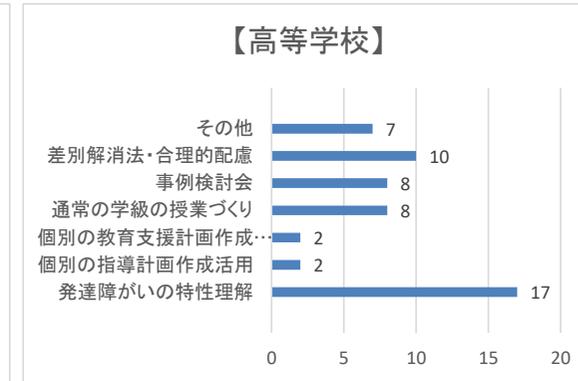
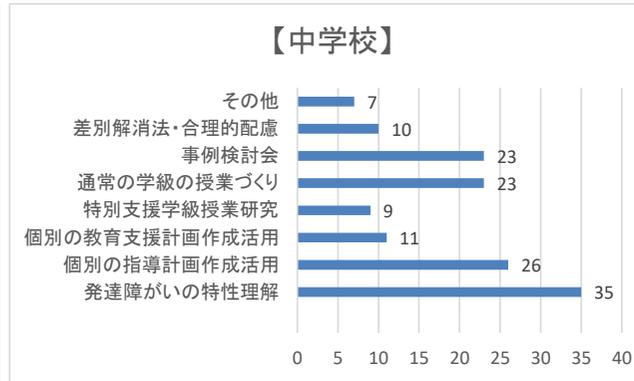
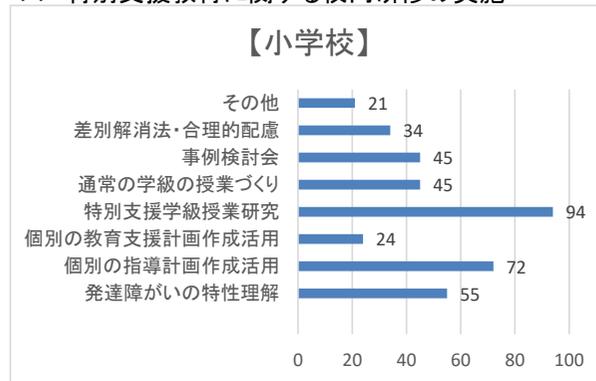
## 9 進学・就職先への引継ぎ方法



## 10 進学・就職先への引継ぎができなかった理由



## 11 特別支援教育に関する校内研修の実施



## 12 特別支援学校教諭免許状保有状況

